

■ 楽典・聴音グレードについて

<楽典>

グレード1(基礎)

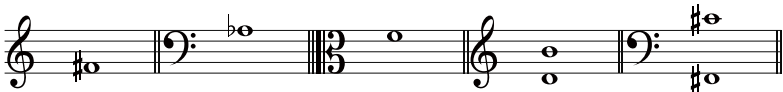

楽典の学習をこれから始める方、あるいは始めて間もない方のためのクラス。
「音程」「音階」「和音の種類」といった基礎の項目を中心に学び、実力を高めていきます。

グレード2(応用)

「音程」「音階」「和音の種類」(コードネーム)をすでに学習した方のためのクラス。
基礎的な項目の習熟度を高めるとともに、調、調号、調判定、和音の所属などを学びます。

グレード3(発展)

音程、音階、和音、調など、多くの項目をすでに学習した方のためのクラス。
入試問題のレベルに焦点を当て、多くの問題を解きながら習熟度を高めていきます。

<p>次の音名(ドイツ語、英語どちらか)と音程を理解している</p> <p>できる場合</p>	 <p>Fis(F#) As(Ab) F 長6度 1オクターブと完全5度</p>	<p>できない場合 → グレード1</p>
<p>次の和音の種類を理解している</p> <p>できる場合</p>	 <p>減三和音 (ディミニッシュ・コード) 短七の和音 (マイナー7thコード)</p>	<p>できない場合 → グレード2</p>
<p>上記はひとつおりの学習を終え、受験対策としての講義を希望している場合。</p>		<p>グレード3</p>

<聴音>

グレード1(基礎)

聴音の学習をこれから始める方、あるいは始めて間もない方のためのクラス。
基礎的なところからしっかり学び、楽譜を書けるようにします。

グレード2(応用)

聴音の学習内容を理解していて、4分音符、8分音符程度の動きなら書き取ることができる方のためのクラス。
基礎的な課題を中心に学びながら、実力を高めていきます。

グレード3(発展)

入試問題レベルの課題を実施し、さらに力を伸ばしたい方や受験に備えたい方のためのクラス。
多くの聴音課題を実施して習熟度を高めていきます。

<p>次のような旋律を聴き取り、書く事ができる</p> <p>できる場合</p>		<p>できない場合 → グレード1</p>
<p>次のような旋律を聴き取り、書く事ができる</p> <p>できる場合</p>		<p>できない場合 → グレード2</p>
<p>次のような旋律を聴き取り、書く事ができる</p>		<p>できない場合 → グレード2 できる場合 → グレード3</p>